

令和元年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1490900154	事業の開始年月日	平成21年4月1日
		指定年月日	平成21年4月1日
法人名	(株)ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター樽町		
所在地	(〒222-0001)		
	神奈川県横浜市港北区樽町4-9-30		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	令和元年11月22日	評価結果 市町村受理日	令和2年1月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者様、その御家族と信頼関係が構築できるよう些細な事でも連絡、報告するようにしています。月1回たよりなどで様子等も伝えております。</p> <p>イベントはデイサービスの1階で行われるが、デイサービスからグループホームに入所した方も3名いて顔なじみ</p>
--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和1年12月10日	評価機関 評価決定日	令和2年1月7日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は、東急東横線綱島駅東口からバスで6分、札の下停留所より徒歩で5分程の場所に立地し、近隣には工場、住宅、スーパーマーケット、中学校などがある。2階建て鉄骨造りの建物で、1階に放課後デイサービスの事業所と同一法人の居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、通所介護事業所がある。事業所は2階にあり、車椅子対応のトイレや洗面台、リビングに面した広いベランダがある。 訪問時は、利用者数人が談笑していたり、洗濯物をたたんだり、テレビを見てくつろいだり、「ここは樽町家」という理念のとおり、利用者が我が家のように振る舞い、調査終了時には3名の利用者が出口まで見送りに来てくれた。</p> <p><b>【外出支援】</b> 「年間行事開催予定表」を作成し、桜の季節には利用者全員と家族が花見に出かけている。また、地域ケアプラザ主催の文化祭などに参加したり、家族とショッピングモールに出かけ外食したりしている。日課として散歩を希望している利用者は、管理者と近隣の商業施設に出かけている。車いすを使用している利用者は、ベランダで外気浴をしたり、家族と買物に出かけたりしている。 フラダンスのボランティアや、中学生による合唱や和太鼓の演奏等が、階下のデイサービスを訪れた際には、当事業所の利用者も見学し、地域の人と交流している。デイサービスを利用していた方が入所に至るケースもあり、顔なじみの関係が保たれ、事業所での安定した生活につながっている。</p> <p><b>【家族の意見の反映】</b> 毎月「ほほえみたより」を発行して事業所の様子を家族等に伝えている。家族の意見は、来訪時や運営推進会議、法人が毎年実施する顧客満足度調査などで聞いている。家族からの要望で「食べることが唯一の楽しみなので制限しないでほしい」という方には、家族が持参する食品を食べていただき、「料理が好きなので調理に係ることをさせてほしい」という方には、下ごしらえをしていただくなど、家族の意見をサービスに反映させている。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター樽町
ユニット名	ニチイのほほえみ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関前に理念を掲示しています。毎月の職員会議にて確認し、常に理念を意識しながら支援をしています。	事業所の理念である「ここは樽町家 すべての人が笑顔で楽しく過ごせる家」を事業所内に掲示し職員間で共有している。理念は、入社の際の説明や毎月開催の会議で周知している。事業所が自分の家だと認識してもらえよう、笑顔での声掛けに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域美化活動等に定期的に職員と利用者で参加しています。	樽町町内会中区に加入し回覧板を通じて、町内の避難訓練や美化活動の一斉清掃に参加している。地域ケアプラザ主催の文化祭などにも参加している。傾聴、落語、フラダンス等のボランティアが訪れ、利用者と交流している。中学生が合唱や和太鼓の演奏でデイサービスを訪問した際は、見学に行き交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が介護の事で相談できるように、玄関に案内のボードを設置しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。ケアプラザの職員、民生員、御家族に参加していただき意見を頂戴しています。	運営推進会議を2ヶ月に1度開催している。参加者は、利用者、家族、民生委員、町内会長、地域包括支援センターの職員、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、事業所の職員である。参加者からの「避難訓練に参加したい、訪問マッサージを利用させたい」などの要望に応じている。	

5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>港北区役所に月1回ほど出向き、高齢支援課、生活保護課の職員の方に情報を提供しています。</p>	<p>「役所に出向いての顔合わせが必要」との管理者の考えから、月に1回程港北区の高齢・障害支援課や生活支援課を訪問し協力関係を築いている。</p>	
---	---	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2回身体拘束について研修しています。必要時は家族に承諾を得ています。	「高齢者虐待防止マニュアル」があり、身体拘束や虐待に関する研修を年2回開催している。毎月、身体拘束廃止委員会を開催している。帰宅願望のある利用者が外出を希望した時は、職員と一緒に外に出ている。1階の玄関はデイサービスと共用のため施錠しているが、2階の当事業所出入口は施錠していない。ふらつきがみられる1名には、居室でセンサーマットを使用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	年2回の研修をしています。事業所全体で虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在2名の方が後見人制度を利用しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	問い合わせがある場合は、分かりやすく説明するよう心がけています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置。運営推進会議等で出た意見等は、会議で職員と共有し検討しています。	毎月「ほほえみたより」を発行し、事業所の様子を家族に伝えている。家族の来訪時や運営推進会議、法人が毎年実施する顧客満足度調査等で家族の意見を聞いている。「唯一の楽しみである嗜好品を制限せず食べさせたい」等の家族の希望に対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回会議の場にて、意見交換し、皆で検討するようにしています。	毎月開催する会議には、夜勤者以外の全員が参加している。会議では、研修やミーティング、身体拘束廃止委員会を行い、行事についても話し合っている。欠席者には後日報告し内容を共有している。役割分担や食事形態の変更などの意見をサービスに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度。資格手当。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実践者研修資格取得の機会を設けてる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	支店にて月1回ホーム会議を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、ご家族に不安に思う事を聞き、安心してサービスが受けられるよう心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントにて、心配事が少しでも解消できるよう心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現段階で何が必要か考え、的確に提示できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事が一緒にできる方は職員と一緒にいき、信頼関係を構築できるよう心がけています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話等で状況を伝えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の昔のお友達がよく来訪されます。	家族の話などから、利用者のこれまでの馴染みの関係を把握している。友人が来訪した時は、利用者とりびングで過ごしたり、タクシーで商業施設に出かけたりしている。家族と墓参りや買物に出かける人もいる。ノンアルコールビールを楽しむ等、嗜好や生活習慣の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席等は職員にて配置を調整しています。トラブルにならないように配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談があれば、丁寧に受けています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思の疎通が困難な方は、家族から意向を伺いケアプランに反映させています。	日々の声かけ、個別の対応や雑談などで、利用者の思いや変化に気づくようにしている。把握が困難な人は家族の意向を聞き検討し支援している。好きな料理をしたい等の希望を把握し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活の中で情報を収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日職員で情報を共有し、状態を把握するようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング、担当者会議で意見を出しあいケアプランに反映させています。	概ね長期目標を1年、短期目標を6ヶ月に設定した介護計画を作成している。見直しは、状態が変化したときや福祉用具の変更時にも行っている。介護計画書は医師などの意見を反映して作成し、家族等に確認し同意を得ている。「介護記録」に介護計画にそった実施内容を記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の介護記録をつけて、職員は出勤時に確認します。変化があれば意見をだしあいケアプラン更新に活用しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様、御家族の意向にそってサービスを行うよう心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の商業施設やスーパーと一緒に買い物に行きます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在横浜北クリニックという機関を利用しています。家族からも信頼されています。	利用者全員が、月2回協力医療機関の内科医の往診を受けている。月1回歯科医と歯科衛生士が来訪し治療や口腔ケアを行っている。内科医に同行している看護師が毎週訪問し健康管理をしている。訪問マッサージが週1回来訪している。以前より定期的に通院していた内科の受診には、家族が対応している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の医療連携にて看護師の方に少しの変化でも伝え、必要時はその時に電話にて相談にのってもらってます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報をしっかり伝えられるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明をしています。家族の意向にそえられるよう医療機関と連携を図っています。	入所時に「重度化した場合における対応に係る指針」を家族に説明し同意を得ている。今年1名の看取り介護を行った。医師の指示のもと、家族、管理者などが話し合い、看護師の協力も得てチームで支援に取り組んでいる。	医師や看護師のもと、職員の精神的なフォローも含めた研修の実施を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応を会議の場で共有しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年度2回の避難訓練を行い、地域の消防団の方にも参加してもらっています。	9月に予定していた訓練は、消防署に救急要請が入り中止になっている。1階のデイサービスと合同で12月18日に夜間想定訓練を、来年2月に避難訓練を実施し、役割分担の確認などを行う予定である。水、わかめご飯、クラッカーなど、5日分の食料と防災頭巾を備えている。備蓄品については法人が管理をしている。	非常災害時には1階の放課後デイサービスや近隣の方の一時避難所となることから、卓上コンロなどの熱源の準備をする事を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の意思を尊重し、マナーには気をつけて対応しています。	職員は、排泄の失敗に「心配しなくていいですよ」「大丈夫ですよ」など、羞恥心に配慮した声掛けをしている。トイレのドアは必ず閉め、入浴で異性の介助を好まない方には、同性の職員に替えている。接遇の研修を入社時の他、今年度は11月に実施している。個人ファイルは、事務室の施錠できるキャビネットに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	しっかり聞き、自身で決定してもらうよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	希望にそえられるよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着たい物を着てもらってます。選べない方は職員が助言しています。		

40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>できる方はしていただいています。</p>	<p>宅配業者の献立の食材を発注し職員が調理し食事を提供している。利用者の嚥下状態に合わせ、トロミ食などを提供している。利用者と買物に行き、利用者の好みの物を食卓に添える事もある。誕生日にはケーキを提供している。利用者は、もやしのひげ根取り等の下ごしらえや食器洗い、下膳等を行っている。利用者の希望で寿司や鰻の出前を取ることもある。家族と外食を楽しんでいる。</p>	
----	----	--	-------------------------	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量を毎回記録し状態把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎回3食後に行います。歯科医の助言等もいただいています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	残存機能をいかせられるようになるべくトイレにて排泄していただいています。	「介護記録」に記載の排泄記録を確認し、必要な方の排泄リズムを理解して、タイミングを見計らいさりげなくトイレ誘導をしている。夜間は、安眠を優先して吸収率の良いパットを使用しているが、量の多い人の場合は取り替えるなど、個々に応じた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師に相談し予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	2日おきくらいで皆様に入浴してもらい、希望される方にはその都度、入れる体制を整えています。	概ね週3回、お湯はかけ流しにして入浴している。現在、毎日の入浴を希望する人はいないが、夏場は、シャワー浴を希望する人に対応している。脱衣室に扇風機やヒーターを置いてヒートショック対策をしている。同性介助を希望する人に対応している。入浴を好まない人は、入浴日を変えたり入浴以外の会話をしながら浴室に促したりしている。入浴剤を選んで購入し入浴を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	職員が声かけをして休んでいただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬がおきないように、ダブルチェックにて対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割をもってもらう事で、生きがいにもなっているようです。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は全ての希望には答えられてないと思います。	日課として散歩を希望している人は、管理者と近隣の商業施設に出かけている。車いすを使用している人は、ベランダで外気浴をしたり、家族と買物に出かけたりしている。「年間行事開催予定表」を作成している。初詣やお花見には利用者全員と家族が出かけている。地域包括支援センター主催の催しに参加したり家族とショッピングモールに出かけたりしている人もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い金は事業所にて管理しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自身にて電話をかける方はいません。受話器に出れる方は、案内しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感をだす工夫はしています。	調査時には、利用者がリビングでテレビを見たり気の合う同士で談笑して過ごしていた。リビングは採光がよく、カーテンで光を調整し、冬季は加湿器を設置している。床は年2回専門の業者が入ってワックスがけをしているが、毎日の床掃除には消毒剤を使用して清潔を保っている。リビングにクリスマスツリーを飾る等して季節を感じられるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1人で入れる空間は用意していません。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物を部屋に好きなように置いてもらってます。	事業所の備品は、照明・空調設備・クローゼット・レースのカーテン・ベッドである。利用者は、整理ダンス・椅子・机・テレビ・ぬいぐるみ・写真・カレンダー・スーツケース、兜飾りなど、好みの物を持ち込み個性のある居室になっている。	



55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所が分かりやすいようには工夫をしています。部屋の表札など。		
----	--	---	--------------------------------	--	--

# 目 標 達 成 計 画

事業所名

ニキイアセ内-梅田

作成日

2020年1月28日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	非常災害時に熱源がない。	熱源を確保し災害時に備える。	カセットコンロを用意する。	2020年2月末
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。